

気候変動適応における広域アクションプラン策定事業 東北地域

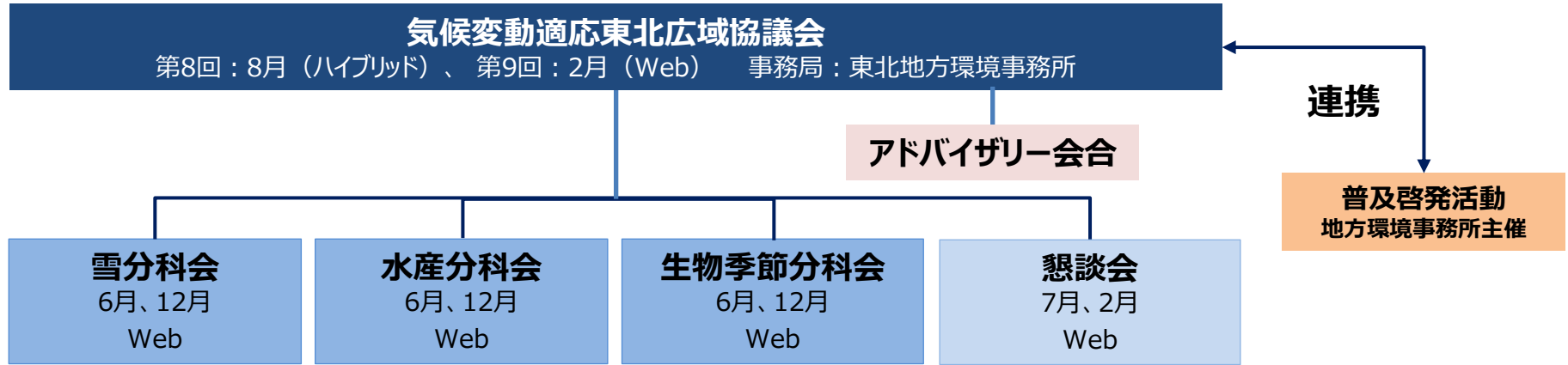
平成4年度広域アクションプラン策定事業 東北地域業務の概要

令和5年2月16日

東北地方環境事務所
(日本エヌ・ユー・エス株式会社)

事業概要（令和4年度）①

◆ 気候変動適応東北広域協議会の運営・開催



<構成員>

青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、
 仙台市、青森市、盛岡市、秋田市、山形市、鶴岡市、
 新庄市、寒河江市、村山市、天童市、東根市、河北町、
 大石田町、川西町、福島市、会津若松市、郡山市、
 いわき市、二本松市、伊達市、本宮市
 青森県気候変動適応センター
 宮城県気候変動適応センター
 秋田県気候変動適応センター
 山形県気候変動適応センター
 東北農政局、東北森林管理局、東北地方整備局
 北陸地方整備局、東北運輸局、仙台管区气象台

<アドバイザー>

敬称略 五十音順 ※座長

氏名	所属
伊藤 進一	東京大学大気海洋研究所 教授
大澤 剛士	東京都立大学都市環境科学研究科 准教授
風間 聡	東北大学大学院工学研究科 教授
野尻 幸宏※	国立環境研究所 客員研究員
日引 聡	東北大学大学院経済学研究科 教授
増本 隆夫	秋田県立大学生物資源科学部 教授

事業概要（令和4年度）②

◆ 気候変動適応に関する普及啓発活動

- ・ 高校生・学生等を対象としたセミナー・ワークショップ（7月23日 青森県内の高校生中心に学生を対象として現地開催）
- ・ 自治体職員等を対象に適応計画策定に関する研修会（10月31日 山形県内の自治体職員を対象として現地開催）

【令和4年度 スケジュール】

活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全国AD会合/全国大会								▲ 11/29,12/1 全国AD会合			▲ 3/22-24 全国大会	
東北広域協議会					▲ 8/24 第8回						▲ 2/16 第9回	
懇談会				▲ 7/28 第5回							▲ 2/24 第6回	
雪分科会			▲ 6/16 第5回						▲ 12/12 第6回			
水産分科会			▲ 6/29 第5回						▲ 12/13 第6回			
生物季節分科会			▲ ▲ 6/11 生物季節観察会 6/30 第5回						▲ 12/19 第6回			
普及啓発活動				▲ 7/23 高校生・学生向けセミナー・WS				▲ 10/31 自治体向け研修会				
			← ランチタイムセミナー開催 1回/月 →									

【実施体制】



事業概要（令和4年度）③

◆ 懇談会の開催

第5回 懇談会

日時：令和4年7月28日（木） 13:15～16:00

方法：Webex によるオンライン形式

1. 第7回全国ユース環境活動発表大会参加校発表

講演：地球温暖化の影響は仙台上空にも及んでいるか

－仙台西高裏山の崖の斜面崩壊を予測する方法について－

（宮城県仙台西高等学校地学部災害気象研究グループ）

2. 令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰講演普及・促進部門 緩和・適応分野

講演：「気候変動×主権者教育」プロジェクト みんなで描くにじいろ未来

（一般社団法人あきた地球環境会議 事務局長 福岡 真理子氏）

3. 水産分科会に関する講演

講演①：地球温暖化による海の変化とその影響

（東北大学大学院理学研究科 教授 須賀 利雄 氏）

講演②：気候変動による水産業への影響と適応策（仮）

（国立研究開発法人水産研究・教育機構 木所 英昭 氏）

講演③：気候変動によるエゾアワビ資源の動態

（国立研究開発法人 水産研究・教育機構 高見 秀輝 氏）

【参加者】合計48名（自治体関係者29名、国立環境研究所3名、環境省8名、地域事業者8名）

第6回 懇談会

日時：令和5年2月24日（金） 13:00～16:15

方法：Webex によるオンライン形式

1. 講演①

未来の仙台・東北からの適応・環境メッセージ

（東北工業大学 ライフデザイン学部 教授 大場 真 氏）

2. 講演②

世界農業遺産・大崎耕土の伝統的水管理システムに見る適応策（仮）

（宮城大学大学院 事業構想学研究科 教授 郷古 雅春 氏）

3. 講演③

スポーツから考える気候変動の影響への適応

（株式会社ウェザーニューズ スポーツ気象チーム 浅田 佳津雄 氏）

4. 意見交換

生物季節モニタリングについて

（国立環境研究所）

【参加者】

事業概要（令和4年度）④

◆ 気候変動の影響への適応 ランチタイムセミナー

第1回：農業、森林・林業、水産分野

日時：令和4年6月16日（木） 12:05~12:55

方法：Webex によるオンライン形式

講演：「NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」から考える森林と気候変動の関係」

（宮城県登米市登米町森林組合 参事 竹中 雅治氏）

【参加者】合計182名（自治体関係者51名、国地方支部局70名、一般参加者61名）



第2回：健康分野

日時：令和4年7月21日（木） 12:05~12:55

方法：Webex によるオンライン形式

講演：「気候変動の健康影響と適応策」

（東京大学大学院 医学系研究科 教授 橋爪 真弘氏）

【参加者】合計229名（自治体関係者88名、国地方支部局71名、一般参加者70名）



第3回：自然災害・沿岸域分野

日時：令和4年8月18日（木） 12:05~12:55

方法：Webex によるオンライン形式

講演：「自然災害への気候変動影響と適応」

（京都大学防災研究所 所長・教授 中北 英一氏）

【参加者】合計226名（自治体関係者70名、国地方支部局71名、一般参加者85名）



事業概要（令和4年度）⑤

◆ 気候変動の影響への適応 ランチタイムセミナー

第4回：自然生態系分野

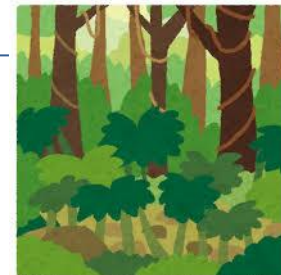
日時：令和4年9月15日（木） 12:05~12:55

方法：Webex によるオンライン形式

講演：「温暖化でどう変わる 日本の生物多様性」

（琉球大学 理学部 教授 久保田 康裕氏）

【参加者】合計229名（自治体関係者65名、国地方支部局81名、一般参加者83名）



第5回：自然災害・沿岸域分野

日時：令和4年10月20日（木） 12:05~12:55

方法：Webex によるオンライン形式

講演：「東北地方の気候変動と適応策～防災気象情報の使い方～」

（気象予報士・防災士・危機管理士1級 齊田 季実治氏）

【参加者】合計228名（自治体関係者64名、国地方支部局82名、一般参加者82名）



普及啓発活動

今年度の活動結果（高校生・学生向けセミナー）

「気候変動×SDGs」

日時：令和4年7月23日（土） 13:00～17:10
 方法：青森県観光物産館アスパム5F会議室とオンラインのハイブリッド形式によるセミナーとワークショップ

講演：「気候変動の影響と適応」

環境省東北地方環境事務所

講演：「気候変動とSDGs について考えてみる」

青森大学 SDGs 研究センター センター長 藤公晴 教授

講演：「岩手大学発！ SDGs 達成に向けて」

岩手大学 環境マネジメント学生委員会

講演：「生活季節観察調査報告」

弘前大学 環境サークル わどわ

ワークショップ & オンライン座談会：「気候変動×SDGs」

【参加者】 高校生27名、大学生7名 計34名
 （会場） 高校生18名、大学生 5名 計23名
 （オンライン） 高校生 9名、大学生 2名 計11名

今年度の活動結果（自治体向け研修会）

「自治体職員のための『適応』研修会」

日時：令和4年10月31日（月） 10:30～16:00
 方法：山形県村山総合支庁内講堂でのセミナー とワークショップ

講演：「地域における気候変動適応」

国立環境研究所

講演：「山形県の気候変動『これまで』と『これから』」

山形地方気象台

地域適応計画策定済み自治体事例発表

鶴岡市

講演：「地域適応計画策定マニュアルについて」

国立環境研究所

ワークショップ：「適応策を考えるワークショップ」

国立環境研究所

【参加者】 自治体関係者 計13名
 （セミナー） 12名
 （ワークショップ） 13名

実施計画（令和2-4年度）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民/企業向けセミナー	市民向けセミナー 「あおもりの暮らしセミナー ～知ろう、考えよう、気候変動に適応すること～」 （青森県）	企業向けセミナー 「変わりゆく東北の気候～事業者はどう向き合うのか～」 （Web）	高校生・学生向けセミナー 「気候変動×SDGs」 （青森県/Web）
自治体向け研修会	「気候変動への適応、秋田県の気候変動への理解を深めること」（秋田県）	「自治体の熱中症適応策に係るセミナー」（Web）	「自治体職員のための『適応』研修会」（山形県）